

かわうち

平成7年1月20日発行

愛媛県温泉郡川内町・編集 川内町総務課・電話66-2222 有線2111・印刷 アマノ印刷

新成人



町の動き (1月1日現在)

- 人口 10,668人(+4人)
- 男子 5,038人(+1人)
- 女子 5,630人(+3人)
- 世帯数 3,463戸(±0戸)

()内前月比

—— 今月の主な記事 ——

- 年頭のごあいさつ(町長)……………2
- 12月定例町議会報告……………2～3
- 大切な松林を松くい虫から守るために……………4～5
- 成人式……………6～7
- カメラレポート……………8～9
- わが家の愛ドル・みんなの投稿欄……………10
- 役者ネットワーク……………11

年頭のご挨拶



川内町長

森 房義

川内町の皆様、明けましておめでとうございます。平成七年の年頭に当り、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、一昨年は、異常冷夏に見舞われ、昨年は又、記録的な異常渇水と続く自然の威力を存分に見せしめられた、誠に、思うにまかせない多難な年でございました。昨年の政治情勢を振り返ってみます時、「村山連立政権の誕生」をはじめ、「既成政党の消滅」、「新党の発足」と政界は実に波乱の変遷をいたしており、国民は一日も早い、政治の安定を望むものであります。

川内町におきましては、念願の高速道路、そしてインターネットが開通し、又町民待望の温泉掘削事業でも、湯量、泉質、温度ともに、予想を上回るすぐれた源泉の掘削に成功いたしました。

本年は町民各位のご期待に添うべく、現在、諮問検討をしておりますこの温泉利用計画を基にして、町民の健康と福祉の向上に、併せて、川内町発展のために懸命の努力を傾注して参る所存でございます。

年頭に当り、町民の皆様方の格別のご協力をお願い申し上げますとともに、全町民のさらなるご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成七年 元旦

●十二月定例町議会報告

補正総額 一億九千二百九十八万五千元

道路改良費、温泉整備動力装置設置工事費など

12/20～12/22

平成六年度の十二月定例町

議会は、十二月二十日開会し、

平成六年度補正予算など議案

十二件のほか、発議一件、報告一件、請願一件が提案され

いづれも原案どおり可決、採

択され、二十二日閉会しまし

た。

主なものは、次のとおりで

す。

累計総額

四、六八四、八〇八千円

主な補正の内容は、次のとおりです。

カーブミラー設置費(26基)

四、一三八千円

老人デイサービス事業委託金

二、一四九千円

ホームヘルパー設置委託

一、六八三千円

老人保護措置費

一〇、二四四千円

東温地区もち米乾燥調整施設

整備事業補助金

一、七一九千円

温泉整備事業費(動力装置設置工事)

二一、〇〇〇千円

道路橋梁維持修繕工事費

一〇、〇〇〇千円

道路橋梁新設改良工事費

五〇、五〇〇千円

緊急地方道路整備事業費(三

軒屋音田線工事請負費ほか)

二七、四〇〇千円

国民健康保険特別会計

補正総額 一四、二二四千円

累計総額六九〇、六〇七千円

主な補正の内容は、次のとおりです。

一般被保険者高額療養費保険

者負担金

一三、〇〇〇千円

退職被保険者等高額療養費保

険者負担金

二、八〇〇千円

老人保健医療費負担金

△二、一五三千円

老人保健特別会計

補正総額 二六、五一〇千円

累計総額

一、〇八四、九九八千円

補正予算

老人福祉費、道路改良費、

温泉整備動力装置設置工事費、

老人医療給付費負担金など総

額一億九千二百九十八万五千

円の補正となりました。

一般会計

補正総額一四九、〇五一千円

主な補正の内容は次のとおりです。

老人医療給付費負担金

二八、〇〇〇千円

老人医療支給費負担金

△二、〇〇〇千円

簡易水道特別会計

人件費の補正で補正総額は、

四、二〇〇千円

累計総額二七八、四九一十千円

一般議案

○人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴う人権擁護委員候補者に吉久の大西良温氏を推薦するため意見を求め、同意をされました。

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について

○職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

○職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について

一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律が施行されたことに伴うもの。

○職員の給与に関する条例の一部改正について

○単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について

一般職の国家公務員について俸給月額、扶養手当、期末手当等の額の改定が行われたことに伴い、本町職員についても同様の措置をしようとするもの。

○川内町税条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、川内町税条例の一部を改正するもの。

○町道の認定について

三島段線（保免）が町道に認定されました。

報告

○決算審査特別委員会審査報告

告

継続審査となっておりました五年度決算の認定については、特別委員会の審査報告により認定されました。

請願

○戦後補償問題について意見書の提出を求める請願

保健福祉常任委員会へ付託し、審査することになりました。

議員発議

○治水関係予算の拡大に関する意見書

国の平成七年度予算編成に当たり、治水関係予算の拡大配分、湧水対策に資する公共投資重点化予算の重点配分について、格段の配慮を要請する意見書を内閣総理大臣他関係各大臣あて提出することになりました。

松山広域都市計画下水道

川内町公共下水道説明会

の開催について

川内町は、住民の皆さんの

下水道の名称

生活環境を快適なものとする

川内町公共下水道

ため、生活排水対策を進めて

都市計画決定を行う区域

おります。その一つとして都

市街化区域全域

市計画区域で行う公共下水道

一〇五ヘクタール

事業があります。

処理施設の位置

平成四年度から全体計画の

川内浄化センター(仮称)

策定に着手し、平成六年度都

川内町大字吉久

市計画事業として実施する旨

「下水道で

の決定を行い、平成七年度よ

水も町も美しく

り事業を実施する予定として

おります。

そこで、川内町公共下水道

計画についてのご理解とご協

力をいただくため次のとおり

説明会を開催いたします。

日時 二月三日(金)

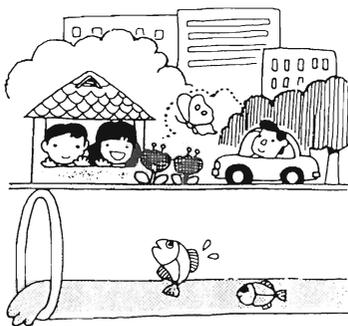
午前十時～正午

会場 川内町中央公民館

都市計画の種類

松山広域都市計画下水道

道の変更(川内町決定)



『大切な松林を 松くい虫から 守るために』

松は古くから日本人の暮らしや精神文化に深く関わる重要な存在です。今日でも松林は、木材の供給はもとより、海岸、河口の砂質土壌地帯における飛砂や潮害の防備、防風、風致景観の維持、また、風化花崗岩地帯や里山のせき悪林地地帯における土砂の流出や崩壊の防備、水源のかん養、生活環境の保全・形成等、私たちが生活していくうえで大変重要な働きをしています。

こうした大切な松林を松くい虫の被害から守るため、森林病虫害等防除法や松くい虫被害対策特別措置法等に基づき、様々な被害対策が進められてきました。その結果、松くい虫被害は、年々減少する傾向にあります。またなお被害が発生しており、引き続き総合的な被害対策を進める必要があります。

大切な松を松くい虫の被害から守るためには、**地域が一体**となって、計画的に対策を進めることが必要です。国、県、市町村では、被害対策の計画を作って、その推進を図っていますが、**松林所有者をはじめ、地域住民の皆さんのご協力**が不可欠です。

そこで、松くい虫防除の重要性をよくご理解いただくため、「**松くい虫被害対策**」に関する特集を3回にわたり行うことといたしました。第1回は、「**松くい虫被害の発生機構**、**松くい虫の防除方法**」、第2回は、「**川内町における松くい虫被害の概要**、**特別防除**、**薬剤空中散布の概要**」、第3回は、「**川内町における松くい虫防除に伴う影響調査**、**松くい虫防除に関する意向調査**」についてお知らせする予定です。

移植や不適切な手入れのため起こる生理的衰弱、大気汚染等による環境条件の悪化等様々な原因があります。

しかし、近年、激甚な被害をもたらしているいわゆる激害型の松枯損の原因は、国立林業試験場等の研究により、**マツノマダラカミキリ**により媒介される**マツノザイセンチュウ**という体長1mmにも満たない小さな線虫によって引き起こされるものであることが明らかにされています。

つまり、**マツノザイセンチュウ**が松枯れの犯人で、**マツノマダラカミキリ**がその運び屋なのです。

このため、松を守るためには、病原体である**マツノザイセンチュウ**と運び屋の**マツノマダラカミキリ**との関係を断ち切る必要があります。

の枝や樹幹に穴をあけて侵入し、樹皮下を食害するせん孔性甲虫類の総称です。このせん孔性甲虫類は、60種以上の多数にのぼります。

なお、**松くい虫被害特別措置法**における**松くい虫**は、**マツノマダラカミキリ**を指すものと定められています。

●被害発生のおそい

マツノザイセンチュウにより枯損した松の材内で幼虫期を過ごした**マツノマダラカミキリ**は、春から夏にかけて体内（気管）に**マツノザイセンチュウ**を保有して被害木から外界へと羽化・脱出し、栄養摂取のため、健全木の若枝の樹皮を食害します。これを後食（こうしょく）といいます。

この**マツノマダラカミキリ**が後食する際、**マツノザイセンチュウ**は、**マツノマダラカミキリ**から離脱して、その食痕から松の材内に侵入し、樹体の組織や生理に異常を引き起こし、全身的な発病から、松は衰弱、枯死に至ります。一方、**マツノマダラカミキリ**は、夏から秋にかけて、こ

のような衰弱した松（樹脂の流出が止まった松）に産卵し、ふ化した幼虫は、樹皮下を食害して育ち、秋に入つて気温が下がってくると材内に蛹室をつくり越冬します。この時、先に松の材に侵入していた**マツノザイセンチュウ**は、春、**マツノマダラカミキリ**が羽化・脱出する際、**マツノマダラカミキリ**の蛹室の周辺に集まってきた、**マツノマダラカミキリ**の体内（気管）に潜入し、再び外界へ運び出されます。

このように、**マツノザイセンチュウ**は、**マツノマダラカミキリ**によって枯損松から外界に脱出し、新たな松樹体内で繁殖する一方、**マツノマダラカミキリ**は、**マツノザイセンチュウ**によって衰弱した松に産卵、そして繁殖するという相互に極めて緊密な共生関係にあります。

《松くい虫被害の発生機構》

①松枯損の原因

松枯損の原因には、風害等の気象害、ツチクラゲ菌やマツバノタマバエ等の病虫害、

②松くい虫被害発生のおそい

松くい虫とは一般に知られていない名称ですが、このような特定の名前の昆虫がいるわけではなく、これは、**マツ類**

③松くい虫被害の症状

マツノザイセンチュウが侵入すると、葉の色の変化等外観的な症状より先に、まず第一に、樹脂が急に少なくなる

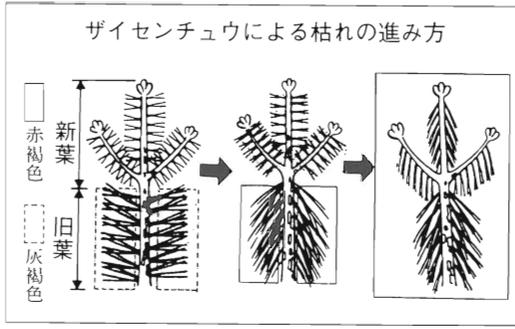
内部異常を起こします。葉の変色やしおれ等外観的变化が現れるのはその後で、変色としおれはどちらかが先になる場合、同時に起こる場合と様々です。葉の変色やしおれは、旧葉（2〜3年生の葉）から新葉（その年に生じた葉）へと進むのが一般的です。針葉が短期間に鮮やかな赤褐色に変色し、次第に退色、そして落葉に至ります。

外観的なしおれや赤褐色の変色は、西日本の暖地では、ほとんど感染した年内に現れます。

《松くい虫の防除方法》

松くい虫の防除に当たっては、マツノザイセンチュウの運び屋であるマツノマダラカミキリを防除の対象として、次の方法を基本としています。

まず**予防措置**としては、マツノマダラカミキリが体内にマツノザイセンチュウを保持して被害木から羽化脱出し、栄養摂取のため健全な松枝をかじる時期（5〜7月頃）に空中あるいは地上から薬剤を樹冠部に散布しておく、マツノマダラカミキリが後食するのをねらって殺虫する方法が取られています。（**特別防除、地上散布**）



地上散布

一方、被害を受けた松については、これをそのままにしておくと、翌年そこからマツノザイセンチュウを保持したマツノマダラカミキリが羽化脱出し、周辺の松に被害を拡散することになることから、**駆除措置**として、被害を受けた枯損木を秋から翌春にかけて

伐倒駆除、補完伐倒



伐倒駆除



特別防除

伐倒のうえ薬剤処理あるいは破砕・焼却を行い、材内にいるマツノマダラカミキリの幼虫を殺虫する方法が取られています。（伐倒駆除、特別駆除等）

また、伐採木や伐採跡地の枝条・根株、枯損幼齢木も被害の感染源となることから薬剤等による駆除が行われてい

に切り替えてしまう**樹種転換**も行われています。

なお、最近、マツノザイセンチュウ自体を防除する方法として、健全な松の樹幹にあらかじめ薬剤を注入して予防する樹幹注入剤や、誘引物質を利用してマツノマダラカミキリを誘引し殺虫する方法などが実用化されています。

更に、育種の面からは、マツノザイセンチュウに抵抗性を有する松の品種の開発が進められています。



成人の日

おめでとう

二十歳

大人の仲間入りを祝う成人式が、一月十五日、午前九時三十分から中央公民館で行われました。

今回成人式を迎えたのは、昭和四十九年四月二日から昭和五十年四月一日までの間に生まれた百四十七人で、そのうち百十三人が出席し、行われました。

森町長の式辞、記念品の贈呈(受領者 新成人代表 河野孝美さん)、来賓の祝辞を受けたあと、代表して渡部光温さんが二十歳の決意を述べました。

引き続き、新成人の参加者は記念写真を撮り、会場を二階第一会議室に変えて、新成人自ら企画した茶話会を開催しました。

ひさしぶりに再会した友人、先生と時間を忘れて語り合っていました。





渡部光温さん(茶堂)

二十歳を迎え、社会的には成人として迎えられたが、僕自身は憂いのない生活を未だ送っています。経済的にも親の援助なくしては大学生活もままならないという有様です。

このような状態で、果たして成人の自覚などもてるのでしょうか。正直な話、僕自身この度の誕生日を迎えたとき、私たちの感慨など何一つ感じませんでした。

分を変えてしまうなんてありえるでしょうか。その答えは「否」です。人はひとつ歳をとっただけで突然変わるはずはありません。まして、いま私は親の庇護のもと、ぬくぬくと学生生活を送っているのです。二十歳の自覚など、もてというのがごだいな無理な話です。

では、成人式というのは無益なものなのでしょうか。いやそうではなく、二十歳になっ

はたちに思う

これからの世の中を善くするのも、悪くするのも私達なのだから、この機会にこそ自分を省みるべきだと思います。しかし、自分自身それができかわかりません。僕は今のままで変わらないのではないか、別に今のままで良いのではないか、それに何も自分が変わる必要などないのではないか、放っておけばどこかで誰かがこの世の中を変えてくれるのではないか。

たところで何も変わりはないからこそ、必要なのではないでしょうか。人は自分の言動・生活など、ほとんど省みようとはしません。だから、二十歳を迎えて成人式に臨む今こそ、自分は今まで何をしてきたか、成人となり自分は何を為してゆかねばならないのか、じっくりと考えてみるべきです。

その答えは「またも」否です。所詮私達はまだまだ大人とは言えません。しかし、甘えを言い続けるわけにもいきません。自分以外の何かにすべてを委ねるのはやめなくてはいいけません。まず自分の足で立ち、歩いていかねばなりません。

機会に、自分についてじっくり考えてみるつもりです。

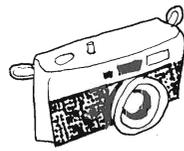


河野孝美さん(竹之鼻)

友達の中には、既に社会へ出ている人がいますが、私は大学生という肩書きの下、大人になる為の猶予期間を過ごしているかもしれません。今の大学生は、就職活動を始める段階になって、慌てて自分を見つめ直す人が多いようです。しかし、私はきちんと目標をもって何事にもベストを尽くしたいと思います。

私が生まれてから二十年、両親、先生、友達……沢山の方々に支えられてきました。二十歳になったからといって突然一人立ちにはできません。しかし、自分なりに大人であるという自覚をもって、周囲と協調しながら頑張っていきたいと思っています。

私ができるようになれば大人なのか、その到達点というものには分かりませんが、まず他人を思いやる心の余裕、周囲への気配りを大切にすることから始めたいと思います。自分の行動に責任が持てるようになること、それが私にとって大人への第一歩なのです。



カメラ レポート



◀交通茶屋

12月20日、川上農協前で年末年始の交通安全を願って、交通茶屋が行われました。

交通茶屋では、松山東署、松山東交通安全協会の川上・三内支部、交通安全母の会、交通安全指導員さんたちが、道ゆくドライバーへ夜間反射材等を手渡し、安全運転をお願いしました。

クリスマスパーティー▶

12月22日に川内町中央公民館大ホールにおいて、若者自由塾主催のクリスマスパーティーが開催されました。

中央公民館玄関外壁のクリスマスツリーのイルミネーションからはじまり、料理、会場づくり、運営にいたるまで自分たちの手でやる手作りのパーティーでした。



◀年末少年夜警

12月26日、冷たい小雨がパラつく中、少年消防クラブ員を中心に年末夜警が行われました。

消防団員の法被を着せてもらって出発。

「火の用心、マッチ1本火事のもと」を連呼しながら、消防団員とともに、沿道の民家に防火を呼びかけました。



◀元旦健康マラソン大会

おだやかな晴天に恵まれた元日に恒例となりました元旦健康マラソンが行われました。

町内外からの参加者285名は、午前10時の7kmの部から順次スタートし、元日の初走りを楽しんでいました。

上位入賞者は、次の皆さんです。

第6回元旦健康マラソン大会入賞者一覧表

クラス別	氏名	クラス別	氏名	クラス別	氏名
3 km 健康 (男)	1位 向井 雅諭紀	5 km 競争 (男)	1位 白石 哲也	7 km 競争 (男)	1位 黒川 茂
	2位 渡部 光弘		2位 一宮 大倫		2位 丹 秀明
	3位 戒能 和憲		3位 黒川 博幸		3位 谷口 茂樹
3 km 健康 (女)	1位 田中路子	5 km 競争 (女)	1位 田中 由加子	7 km 競争 (女)	1位 岩田 千夏
	2位 水沼 純子		2位 西田 和代		2位 堀川 リカ
	3位 田中 羊子		3位 小笠原 絵美		3位 木下 善美

三世代交流会▶

恒例となりました三世代交流会が1月8日、中央公民館大ホールで行われました。

山本アツ子婦人会長のあいさつの後、小学生による選手宣誓が行われ、いよいよレクゲームの始まりです。

最初は、お互いはずかしそうでしたが、班対抗ゲームに入る頃には、皆いっしょになってゲームを楽しんでいました。



わが家の愛ドル



満1歳を迎えられる赤ちゃんの写真とコメントを募集します。コメントには名前、住所、生年月日、両親の名前、赤ちゃんを紹介する簡単な言葉をそえて誕生日の前月末までに役場総務課広報係まで送って下さい。



満1歳です!

ワンパク指数二〇〇%のまあ君、強く、元気にたくましく思いやりのある人に成長して下さい。

(茶堂)
和田真宜くん
二男(一月二十四日生)
父・悟 母・亜由美



よろしく

我家の期待の星伸也君。じいちゃんとおんぼへ行ける日が早く来るといいね。
父・富生 母・静子
長男(二月六日生)

(高木)
細川伸也くん

皆様の投稿お待ちしております!

みなさんの周りの身近な話題を載せています。各地区の話題や催し物等、どしどしお寄せください。

みんなの投稿欄



(このような催し物がございましたら、あらかじめ広報係へご一報ください。なにはさておき、取材にまいるますのでよろしく。)

料理教室の後は、門田先生の話しを聞きながら試食し、あわせてテーブルマナーまで教えていただいたそうです。うらやましい。

生の指導のもと、クリスマス料理に取り組みました。

十二月十四日、元松山全日空ホテルの洋食総料理長の門田征吾さんをお迎えして、フランス料理教室が川上農協本所二階の調理室で開催されました。
これは、川上農協婦人部がクリスマスを前に本格的なフランス料理(クリスマス料理)を学ぼうと開かれたものです。当日は、川上農協婦人部から約二十名が参加し、門田先生の指導のもと、クリスマス料理に取り組みました。

門田征吾さん(フランス料理シェフ)をお迎えしてのフランス料理教室

後者 ネットワーク

中央公民館図書室に「昭和前期初等教育の実相とその考察」という一冊の本がある。愛媛の戦前・戦中の教育史を五〇〇ページ余りにまとめた本である。

この本の作者が今回、「占領期における愛媛の教育」で

愛媛出版文化賞（社会科学部門）を受賞された川上小学校教諭野口学先生である。

この本の作者が今回、「占領期における愛媛の教育」で

愛媛出版文化賞（社会科学部門）を受賞された川上小学校教諭野口学先生である。



野口学さん

映画鑑賞かな」と。本当は仕事に興味なのか、もしくはない。最後に「地域に残る教育資料を収集したいので、持っている方は、ぜひ見せてほしい。古い学会のパンフレットとか、子供の作文とか何んでもかまいませんのでご一報ください。」と逆にお願ひされてしまった。なんともそつがない先生である。

集した膨大な教育資料を徹視的に分析、整理し、一冊の本にまとめてゆく。資料の収集、整理、分析、執筆、校正など一冊の本にまとめる過程では、膨大な労力を必要とする。それも大学院時代の訳書「シュルツ伝記アメリカ最初の幼稚

昭和・平成カラオケ歌の祭典で 最優秀賞受賞▶

1月8日、松山市総合コミュニティセンターで開催された昭和・平成カラオケ歌の祭典で近藤哲夫さん（市場）が最優秀賞（昭和・こころの歌を歌う部門）を受賞されました。

謙遜される近藤さんに「今後の活動は？」と尋ねると、「地域の中で皆さんといっしょに歌ってゆきたい」と。また「かつて自分がやっていたハワイアンバンドから日野てる子さんが歌手デビューしたが、川内町からもプロ歌手ができればうれしいのだが」とも。



近藤 哲夫さん（市場）

◀日本PTA会長表彰受賞

川内町PTA会長の神野 豊さんは、永年の真摯なPTA活動が認められ、11月18日、日本PTA会長表彰を受賞されました。

PTA活動を通して思うことはの問いに、「子供のことをなにかも学校に押しつける親のあり方に問題がある。親、そして地域の親たちの子供たちへの関わり方が子供のあり方を決めると思う」と。



神野 豊さん（市場）

みんなの幸せを

願って

教育委員会

全同教

進路保障を

どう進めるか

～B分散会～

第46回全国同和教育研究会は徳島県で開催された。

全国同和教育研究協議会委員長の寺澤先生は、

「本年は、「同対審」答申から30年、「同和对策事業特別措置法」施行25周年にあたり、これまで取り組まれてきた同和对策事業は、住環境の改善を中心に大きな成果を残してきた。しかし全国59都道府県政令都市の教育委員会で、同和教育担当の部署を設置していないところが20もある。また教育養成課程をもつ大学、短大の中で、部落問題や同和教育に関する講座を設置しているところは30%にも達して

いない、など同和教育が国民教育の課題となっている現在でも、なおさまざまな分野に多くの課題を残していると話されました。



本大会は、部落差別をはじめ一切の差別を許さない人間連帯の実現をめざす同和教育の内容創造と教育実践を交流し、お互いの成果に学び合い、展望を拓く場として全国各地から参集しました。会場では人間のやさしさと尊厳のか

やきに貫かれた安らぎを感じました。

進路保障は、「同和教育の総和」であり、次の3点を取り組みとして掲げています。

①部落の子どもたちの進路をめぐる差別の現実を明らかにする。

②進路を保障する教育内容や学力の創造・実践を深める。

③進路を保障していく態勢を確立し、その運動を展開する。

このように、進路保障は、子どもたちに、部落解放をめざし、きびしい現実に向かつて立ち向かい、未来を切り拓く力を育てることを課題としています。

第6分科会では、「進路保障をどう進めているか」という研究主題のもと問題提起がありました。

徳島県鳴門市大麻中学校からは、「先生、わい、やっぱり、がんばってみるわー」という主題で報告がありました。同和教育に課せられた期待や要望には、科学的認識、基礎・基本の教科学習、さらにそれ以上に大切な人間として

の生き方を身につけていくことが大切となってくる。この当たり前の学習こそ今の社会の中で最も重要視しなければならぬ教育である。このようにとらえた全教職員が、学校、家庭、地域、行政との連携を図りながらその実践に取り組んだ。

中3半ばになった彼は、自分が何をすればいいのか分からなくなった。そのまま「荒れ」につながっている事に気づいた教職員集団は、直ちに職員会を持ち、彼を取り巻く仲間の変容を図っていった。そこでは、卒業生も含む先輩達の生活にも心を寄せ、個々の生活を認め、信頼しきっていくことを基本にし、それを通して関わっていった。やがて、彼も、彼を取り巻く友人たちも、各自の目標をつかむことができ、立ち直っていった。

進路保障を図っていく上で、教師一人ひとりが、一人ひとりの子どもや親の願い、思い、悩みをしっかりと捉え、それにどれだけ寄り添い、実践でき

るかに子どもの将来がかかっていることを痛感させられました。

「いつまでも、差別はあるのですか」「部落だけがよくなって、逆にわたしたちが差別されているのではないですか。」これは、部落問題にかかわる話し合いを設定したときに、出席者の口から発せられることばである。

もし、ここに教育が入らなければ、目の前の子どもたちは、どのような形で「部落問題」が入っていくのだろうか。現在起こっている「差別事件」の大多数が、あやまった形で伝えられたり、もしくはまったく知らないことから起こっているという事実がある。あやまった考え方をもちたものが、子どもにも伝えたとしたら……結果は明らかである。

差別のはじまりは、本当のことを「知らない」ことからがはじまりだともいえる。だからこそ、「部落問題」を教育のなかで正しく学んでいく営みが大切になってくるのではないだろうか。

人権作文

差別をなくそう

川内中学校二年
大野 将男



なぜ、登校拒否になるのか僕にはよくわかりません。僕には学校が楽しい、友達がいる。みんながいる。楽しいクラスがある。それに、数学の難しい問題が一つでも解けると、ほんとうにうれい。日曜日なんか、退屈で退屈で、学校に行きたくなくなることもあります。

ではなぜ、登校拒否になる子がいるのでしょうか。学校へ行きたくない、学校で勉強するのが嫌だという気持ちの積み重ねで登校拒否になっていくようです。そして、その大本の原因にあるのが、「いじめ」つまり差別ではないで

しょうか。

生まれつきで体や顔に、できものがあつたりする人に、「あの人、あそこがこうだからきらいなんよ」とか、「なんであの人がいるの。私あの人嫌いなんよ。」というようなひどいことを言う人が現実にあります。僕だってそんなことを言われると、学校になんか行きたくありません。またそんなことを言う子と、付き合いたくありません。

実際、そのような出来事がこの川内中学校でもありました。僕は、そういうことを言った人に聞きました。「なんであいつがきらいなん。優し

いやん。」と、そうすると、じつと僕の顔を見て、「バカか、おまえ。あいつきしやないんぞ。」と言いました。僕はそれを聞いて、むかつきました。

僕は日頃、胸の中で思っていることを言いました。「先生の言ったことを聞いてなかったんか。おまえ、そんなふうに関係することなんかどうしようもないんやけん言つたらいかまいが。」つと。そうすると相手は、「やかましんやが。」と言いつ返してきました。「なんでそんなふうに思うんぞ。」と僕は言いました。

人間一人一人自分の感覚があります。でも、そういうふうには出してはいけなと思いません。「口は、武器なんだから。」実際自分が言われていると思うと、正直いって、僕は、立ちなおれなくなると思いますが。その子たちは、重い荷物をしょっているのです。苦しめている人が止めないかぎり、ずっと、ずっと。世の中には、体がどうしても不自由で自分ではどうしようもなら

ない人が、たくさんいるのです。

僕が、中学一年生の時学級で、担任の先生と、人権問題について話し合ったことがあります。具体的に言うと「好きな人、嫌いな人は、どこが好きなのか、また、どんなところが嫌いなのか。」というよなことでした。授業が進んでいきました。「私は、足が長い人。それから、ハンサムの人が好きです。」といった女の子がいました。また男の子のほうでは、「女の子はデブでなく優しく、自分より、背が低い方が好きだ。」といいました。そんなことをどんどんまとめていって、先生が「みんなが言ってくれた中で、どうしようもないことがあるだろう。発表してくれ。」と叫びました。するとみんなが、手をあげ、「はい、ハンサムとか、背が高いとか、そういうのがどうしようもないと思います。」と言いました。僕はそれを聞いて、安心しました。

そういうふうに分かっている人がいるから、安心したので

でもまだそういうふうに感じていない人がいるからこわいんです。そんな人はハンサムじゃなく足も短いといった子がいたら、差別といった行為にでるでしょう。例えばそういうふうに、ちよつとしたことで相手をそんなふうに見ると、相手は心が小さくなつてしまいます。そういうふうなことを言う子は、先生に注意されても、まだ自分がしたことがどれだけいけないことか分かっていないのです。

それは大人も同じです。そういうことは、大人にもあります。

世界各地で今もなくなっていない、たくさん差別があります。そういう差別をどのようにして、なくしていくのか、それが僕は、今一番の人類の問題であると思います。これから、未来へはばたこうとしている子供たちのために、一つでも問題をなくしていく、差別をなくしていくこと、それがなによりも大切だと思います。

婦人会 だより

頌春

明けまして

おめでと〜うございます

昨年は色々ご協力をいただきありがとうございます。今年も自分を磨き、明るい家庭と好ましい地域づくりに励もうではありませんか。町内の女性が手を取り合って、青少年・高齢者・ゴミ問題等、女性特有の細かい心づかいで地域を見つめ、仲良く助け合っといううではありませんか。そのためには、町内全域の皆さんの声を沢山お聞きして婦人会活動に反映させていきたいと思っております。よろしく願います。

桜学級

六年度も桜学級の受講生を募り(七十二名で出発)料理・手芸・講演と、多彩に取り組みました。

「お元気でしたか。」
「ボカシの使い具合はどうですか。」

など、久し振りに顔を合わせたの交流、和気あいあいのうちに楽しく研修をする事が出来ました。

第一回 五月二十八日(土)二時
料理教室(三百円集金)

「外米のおいしい炊き方」を昨年に続き、石田料理学園の石田先生に教えて頂きました。タイ米及び他の外米もおいしい料理する事を覚えました。

第二回 七月十八日(月)一時半
人権学習

土居町から、江口徹子先生をお迎えして人権について研修しました。

謙虚で、お姿もお心も実にほれほれするような魅力的なお人柄でした。実例を挙げられて差別の現実をまざまざと語って下さいました。

第三回 九月十二日(月)一時半
手芸教室(三百円集金)
市場にお住まいの渡部春美

先生をお迎えして、ハンカチのマール染めに挑戦しました。簡単でしたが、世界に一枚しかない自分のオリジナルの素敵なハンカチが仕上がりました。希望者はTシャツへたたき染めもしました。

第四回十一月二十四日(木)一時
手芸教室(五百円集金)

上砂「アボンリー」の越智久美子先生をお迎えして、クリスマスツリーを製作しました。クリスマスマスのあとは、お正月ツリーの材料を頂き飾り方も教えていただきました。

家々がパツと明るくなるような作品が出来上がりました。



越智さんからクリスマス飾りの指導を受ける

第五回 十二月十四日(水)一時
お正月料理(三百円集金)

引き続き石田先生をお迎えして、ちよつとおしゃれで洋風的是お節料理を習いました。盛り付けも各班で競いました。「いいお味ね。」

「これも、それもおいしい。」
お正月には、各家庭で教わった全部とはいきませんが、食膳をにぎわしてくれた事でしょう。

第六回 一月八日(日)一時
三世代交流

老人クラブ・小学生・婦人会の三世代が中央公民館の大ホールに集い、仲よくゲームを楽しみました。

VYSの方々の指導で、アツと言う間の楽しい二時間を過ごしました。一八〇名の三世代大家族が、あの大ホールをゆるがすばかりにはしゃぎました。

各世代の心やエネルギーの交流が出来た事は、今の核家族生活に大きな安らぎをもたらしてくれました。

第七回 三月の予定
桜学級六回までの精勤者達で町外学習として、一日研修

旅行を計画しています。見学場所や行き先は未定です。以上で今年度の桜学級は終了となります。

来年度は、介護実習なども取り入れたいと思っております。また、勤務されている方も参加されやすい曜日や、夜間も含めたいと思っております。その他、桜学級についてのご希望などお知らせ下さい。

温泉郡婦人研究大会

二月五日(日)十時
川内町中央公民館大ホール
中島、重信の方をお迎えして三町が一堂に会しての研修・交流会です。

講演、アイディア発表、特産販売などあります。なお、川内花の会からお花を二鉢参加者に差し上げたいと、今、けん命に育てています。どなたでもご参加下さい。お弁当は婦人会が用意します。

二月のボカシ作り
ボカシ石けん販売
二月二十六日(日)午後二時
川内町婦人会

社会福祉協議会だより

松下寿労働組合の

皆さんによる独居世帯慰問

平成六年四月一日現在で県下における六十五才以上の人口は二二六六、〇三〇人で総人口一、五二五、三四二人に対し一七・四四%であり、比率の一番低いのは松山市で一七・七六%、一番高いのは関前村で四〇・七九%です。

本町は人口二〇、六一九人に対し二、二七人で二〇・〇三%となっており、七十市町村中高い順位で五十番目です。

さて、本町で平成六年十二月一日現在七十才以上の独居老人は一〇九人です。この方々は一度しかない人生を精一杯生きていく方々であり、ホームヘルパーが訪問して励まし慰め体の介護、家事のお世話をしております。



松下寿労働組合員による独居世帯慰問

ところで松下寿労働組合では、独居老人の方々への歳末慰問として十二年前から若い組合員が該当世帯を訪問し心のこもった慰问品を手渡し、長寿を寿ぎ健康を祝福し、また虚弱な人には早く元気になられて慰問品を活用して下さい

いと慰め励ましていただいております。本年は歳末二十三日(朔)に丹執行委員長さん以下四十余名が中央公民館で出発式を行い、それぞれ慰問に廻っていただきました。このご厚意に対し有難く御礼を申し上げます。

まごころ銀行

へのご厚志

本年度第三・四半期に次のとおり「福祉のために役立てて下さい」と多額の金品がまごころ銀行に寄せられました。ご預託いただいた方々のお名前を掲載させていただきます、厚くお礼を申し上げます。

南方 桑原 勝様

(故桑原トシコ様忌明け)

南方 柴田 光司様

(故柴田ハルヨ様忌明け)

井内 野口 静雄様

(故野口孫四郎様忌明け)

則之内 長曾我部立男様

(故長曾我部憲様忌明け)

兵庫県南部地震

災害義援金について

ご承知のとおり、一月十七日早朝に発生しました「兵庫県南部地震」の災害状況は日を追うごとに甚大な惨禍となっております。川内町では、災害義援金を社会福祉協議会(健康センター内)で受け付けております。ご協力をお願い申し上げます。

井内 戒能 久男様

(故戒能信一様忌明け)

重信町 中村 信一様

(故中村要様忌明け)

日本列島絆の会

松山本部長 山下健一様

松山市 田中 啓五様

北方 天心流川内支部様

北方 十亀 義房様

なかよし母親クラブ

代表 森 通香様

南方 桑原サカエ様

宮西 河野 宗一様

松瀬川 ガリラヤ荘様



お知らせ ひろば

国民年金

▼二十歳になった皆さん
国民年金の加入手続
を忘れずに

一月十五日は成人の日、大人の仲間入りをされた皆さん、おめでとございます。
晴れて大人の仲間入りをされた皆さんは、二十一世紀に向かつて大きな夢と希望に胸をふくらませ人生の第一歩を踏み出されたことと思います。人生八十年時代の到来とは言うけれど、遠い事ではありません。

卒業、就職、結婚、マイホーム……老後
人生を歩み出した皆さんにとって、今から豊かな老後を考えて「年金なんて……」と感じられるでしょうが、人は誰でも生まれたときから年をとります。

「備えあれば憂いなし」と言うように、自分自身のためだけでなく、将来の家族のためにも、今からのライフプランを支え、守るもの……それが「国民年金」です。
日本国内に居住する二十歳以上六十歳未満の人は、国民年金に加入しなければなりません。

国民年金制度は、皆さんをはじめ若い世代が保険料を納めることによって、お年寄りを支え、次世代に支えてもらうという「世代と世代の支え合い」を基本に成り立っています。
「何で今から……」と考える前に、国民の義務です。
二十歳になったあなた、今すぐ市町村役場で国民年金の加入手続をしてください。

国

保



● 国保の届け出

こんなときは、必ず14日以内に届け出を

	こんなとき	手続きに必要なもの
国保にはいるとき	他の市区町村から転入してきたとき	印かん、他の市区町村の転出証明書
	職場の健康保険をやめたとき	印かん、職場の健康保険をやめた証明書
	職場の健康保険の被扶養者からはずされたとき	印かん、被扶養者になれない理由の証明書
	子供が生まれたとき	印かん、保険証、母子健康手帳
	生活保護を受けなくなったとき	印かん、保護廃止決定通知書
外国人がはいるとき	外国人登録証明書	
国保をやめるとき	他の市区町村に転出するとき	印かん、保険証
	職場の健康保険にはいったとき	印かん、国保と職場の健康保険の両方の保険証（後者が未交付のときは加入したことを証明するもの）
	職場の健康保険の被扶養者になったとき	印かん、保険証、死亡を証明するもの
	国保の被保険者が死亡したとき	印かん、保険証、保護開始決定通知書
	生活保護を受けるようになったとき	保険証、外国人登録証明書
外国人がやめるとき	保険証、外国人登録証明書	
その他	退職者医療制度の対象になったとき	印かん、保険証、年金証書
	市区町村内で住所が変わったとき	
	世帯主や氏名が変わったとき	印かん、保険証
	世帯を分けたり、いっしょにしたとき	
	出かせぎや、長期の旅行	
修学のため、別に住所を定めるとき	在学証明書、印かん、保険証	
保険証をなくしたとき (あるいは汚れて使えなくなったとき)	印かん、本人であることを証明するもの (使えなくなった保険証など)	



募 集

▼ 県営住宅

補欠入居者募集

■ 受付期間

2月13日(日)から2月17日(金)までの8時30分～17時

■ 受付場所

①城北・城西地区、城東地区、城南地区

松山市北持田町一三二

松山地方局建設部建築指導課県営住宅係

☎④一一一内線四四三

② 伊予地区

伊予市米湊二六九の一

松山地方局 伊予土木事務所

☎⑧二二〇五

■ 抽選日時

3月3日(金) 13時30分から

■ 募集団体

①城北・城西地区

松風、松翠、朝美、梅津寺、潮見、鹿峰、中須賀

② 城東地区

溝辺、梅の本、天神、牛

湊、吟松、久米、三町

③城南地区

石井、森松、砥部、西石

井

④伊予地区

新川、伊予

▼女性再就職準備支援
集団セミナー

受講生募集

□対象

再就職に向けて準備している女性

□実施主体

愛媛県女性職業センター

□内容

時間 日	午 前 の 部 (10:00~12:00)	午 後 の 部 (13:00~15:00)	場 所
2/13 (月)	開講式 オリエンテーション 女性のキャリアアップ	パネルディスカッション、 再就職体験談 & アドバイス	愛媛県女性職業 センター
2/14 (火)	職場のマナーとエナケ ット	働くときの税金と保険	愛媛県女性職業 センター
2/15 (水)	ワープロ	一日体験	愛媛県女性職業 センター
2/16 (木)	働く女性をめぐる 法律&制度	企業訪問(未定)	愛媛県女性職業 センター
2/17 (金)	女性の職場と求人情報	あなたの適職診断	愛媛県女性職業 センター

□定員及び受講料

30名、無料

□申込締切

2月3日(金)

□申込方法

直接センターへ申し込むか
ハガキに住所、氏名、年齢、
電話番号を記入のうえ、送
付してください。

□問い合わせ先

〒七九一

松山市山越町四五〇

愛媛県女性職業センター

(☎23二二〇二)

▼自衛官募集

□募集自衛官

陸上自衛官(2等陸士)

海上自衛官(2等海士)

航空自衛官(2等空士)

□試験期日

1月4日から3月31日まで

の毎日。(ただし、土曜日、

日曜日、祝日を除く。)

□試験場及び問い合わせ先

松山市一番町三丁目3の5

自衛隊愛媛地方連絡部

松山募集案内所

(☎47三〇四〇)

民族歌舞団わらび座 川内公演決定

民族歌舞集「いのちの歌」

●日時 3月5日(日) 午後6時開場 午後6時30分開演

●場所 川上小学校体育館

●チケット 大人 三〇〇〇円

小中高生 一五〇〇円

親子券 四二〇〇円

●主催 わらび座を楽しくみる会・愛媛新聞社

●後援 川内町・川内町教育委員会・川内町文化協会

●わらび座とは?

民族歌舞団わらび座は、日本の民族芸能の継承とその創造的発展と普及を期して設立され、秋田県田沢湖町に本部をもつ劇団で、現在座員は二五〇名。民衆のいのちの賛歌や生産・働くことの喜び、生活の喜怒哀楽をうたいあげた全国各地の民族芸能を取材・習得・舞台化し、音楽劇・歌舞劇・和洋楽器の演奏など七つの公演班が年間一〇〇〇回を超す公演を行っています。

『いのちの歌とは?』

この舞台は、劇でもミュージカルでもありません。日本のうたや踊りを中心として、それらを組み合わせた舞台構成となっています。

人は、はるかな昔から、土に働きかけ海に挑み、ともに生きる心を育んできました。そしてその中から生まれた歌や踊りには、よりよい明日を求めて生きる人々のエネルギーと、仲間への愛情が満ちあふれています。

今回の作品は、その働く心、共同する心を根っこにすえています。日本の民族歌舞は、まさに生活の記録集といえます。

おなじ町に生きる人間同士、心弾み、明日への力を交わしあえる——そんな舞台をぜひ皆さんと一緒につくりたいと願っています。

★わらび座を楽しくみる会は、町民の有志によってつくられた会で、川内公演への取り組みを通じて、ひとりでも多くの町民の方々とつながりたいと願って活動しています。一緒に活動してみようと思われの方がおられましたら、ぜひボランティアスタッフとしてご参加下さい。

【問い合わせ先】

川内町役場総務課 近藤
☎六六一二二二二 有線二二一一



株父屋台阿子

川内町有線放送電話の
加入者異動のお知らせ

十二月中の有線放送電話
加入者の異動は次のとおり
です。

○休止
宮 西 高須賀秀清

五六八六

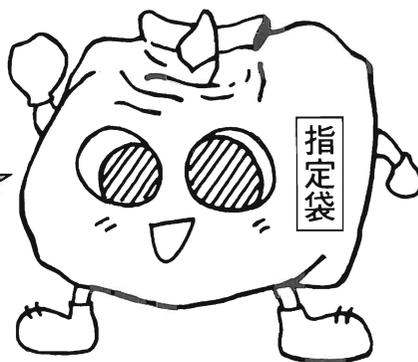
○名義変更

下 沖 渡部建材

(渡部正信より)

五五三四

ゴミの 告知板



■ゴミ出しシール

ゴミ出しシールをお持ちの方は、3月末日までにご使用ください。

■町指定袋販売店の追加

町指定袋の購入につきましては、JA川上、JA三内、スーパーかたやま、ヤマサンセンターで販売しておりますが、今回から新たにスーパーにゆうのや、くすりのおぎのでも町指定袋を販売することとなりました。

1. もえるごみ

2月ごみ収集計画表

清掃センター 電話 66-4989
有線 3130

収集曜日	収集地域	収集日又は収集変更日
毎 週	月・木 東谷・西谷（井内を除く） 土谷・滑川・天神・鳥の子・横灘団地	変更なし
	木 井内	
週	火・金 北方・南方	「ごみ収集計画」にミスプリントがありましたので、以下のとおり訂正させていただきます。 (収集日) 2月3、7、10、14、17、21、24、28日
	火 奥松瀬川	
週	水・土 前松瀬川（鳥の子を除く） 町筋（天神を除く）	2月11日(土)を 2月10日(金)に収集

2. もえないごみ・有資源ごみ

収集地域	ガラス・空ビン類	空き缶等金物類	有資源ごみ
東谷・西谷（井内を除く） 天神・鳥の子・横灘団地	2月13日(月)	2月27日(月)	2月20日(月)
北方・南方・奥松瀬川	2月14日(火)	2月28日(火)	2月21日(火)
前松瀬川（鳥の子を除く） 町筋（天神を除く）	2月8日(水)	2月22日(水)	2月15日(水)
井内・土谷・滑川	2月9日(木)	2月23日(木)	

◇新聞・ダンボール・ビールビン・一升ビン・雑誌・布は資源ごみです！◇

文芸

川内吟社

一月例会 鯛谷選

ひねもすの瀬戸浜風や水仙花
高須賀茅花

初山やお神酒は腰の竹の筒
高瀬 照幸

嬰兒の乳の匂ひや初湯槽
近藤 千春

水仙や峡の里曲の皆縁者
小倉 静波

水仙や師に戴きし句短冊

池川 水穂

水仙を活けて一人の仏間かな

高須賀清江

初句会未熟な者も迎へられ

和田寿壺枝

水仙や漆の匂ふ禰宜の沓

田中 乃武

何はさて合ふ楽しみや初句会

楠 治子

水仙や明治生れの頑に

戒能 芙沙

初詣先ずは万歩の一步かな

熊田 慶一

のうのと迎へし古稀や初句会

池川 鯛谷

川柳もじく吟社

十二月例会 喜撰亭選

費錢でまかない切れぬ願いと
高岡 艶女

黄昏れてポツポツ灯る過疎の
篠森美登里

見かけより話せば興味わくお
高橋 五陽

志望校親と意見がくい違い
平岡 深舟

アルバイトでも良し望みス
チュウワース 田野岡田州

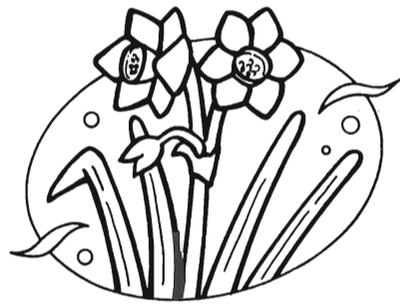
初対面話しがはずむ趣味が合
い 山本ひろ志

ジクソーパズル夢中の部屋に
たそがれる 近藤 十歩

幼子の目を輝かす紙芝居

赤ちゃんが音に興味をしめし
だし 都築登貴子

たそがれた街角にする待ち合
わせ 山本 紫芳



たそがれる土手を影絵のよう
な人 高瀬喜撰亭

二月例会ご案内

二月四日(土)十九時より
中央公民館第三会議室
(題) ①素人 ②山道
③割る
どなたでもご参加下さい。

野の花

ハハコグサ

人里に普通に見られる越年草
春の七草のひとつ「オギヨウ」
がこのハハコグサ

一月に入り、元日、二日
とおだやかな暖かい日でし
たが、三日からは厳しい冬
にもどり、五日には積雪も
みられた。この時期、この
コーナーの執筆がいちばん
苦勞をする。



閉じていた目
を開け、ふと
足元に目をや
ると、茎の先
端に黄色い小
さな花が密集
して咲いてい
るのが見えた。
春の七草の
ひとつ「オギヨ
ウ」である。

しかし、川
内町のどこか
に咲いている
と自分にいい
きかせて取材に
でかけた。

先月号の表紙で
紹介した滑川
の九騎から桜へ
かけての山道沿
へ、もう一度い
って見た。先月
取材した時の背
中のぬくもりを
思い出しながら
山道をゆく。杉
林の中をうづ
むきかげんに歩
く。しばし

小さな花が肩を
寄せ合って咲
いている様が
健気に生きる
母子草を思わ
せるのか、母子
草という名前
がついている。
この寒空に健
気に咲くこの
母子草を見て
いると、しば
らくその場を
立ち去れな
くなった。